## 日本における「文献調査」の動向

● <u>2020年11月17日北海道の寿都町と神恵内村、2024年6月10日佐賀県玄海</u>町で文献調査を開始しました。

▶ 寿都町 :住民説明会、議会説明会、地元産業界との意見交換等を経て、町長が応募。

神恵内村:商工会が誘致の請願、議会が請願を採択。これを踏まえ、国が申し入れ、村長が受諾。

▶ 玄海町 :議会で請願審査付託を決定、請願を採択。これを踏まえ、国が申し入れ、町長が受諾。

● 引き続き、全国のできるだけ多くの地域で、最終処分事業に関心を持っていただき、文献調査を 受け入れていただけるよう、取り組んでまいります。

## (1) 北海道 寿都町 (すっつちょう)

2020年 8/13 検討の表面化 9/7~9/29 町主催の住民説明会 10/9 町長がNUMOに応募

11/17 経産省がNUMOの事業計画変更を認可(調査開始)

2021年 3/8 概要調査・精密調査移行時の住民投票条例が議会で採決 4/14 「対話の場」の立ち上げ(2024年12月までに17回開催)

## (2) 北海道 神恵内村 (かもえないむら)

2020年9/11商工会での検討状況が表面化9/26~9/30国・NUMO主催の住民説明会10/8村議会臨時会で誘致請願を採択10/9国から申し入れ、村長が受諾

11/17 経産省がNUMOの事業計画変更を認可(**調査開始**) 2021年 4/15 「対話の場」の立ち上げ(2024年12月までに20回開催)

## (3) 佐賀県 玄海町 (げんかいちょう)

2024年 4/15 町議会 定例会 4月 会議 原子力対策特別委員会へ請願審査付託を決定 4/26 町議会 定例会 4月 第 2 回会議 請願採択 5/1 国から文献調査申し入れ 5/10 脇山玄海町長会見(文献調査受入れ表明) 6/10 経産省がNUMO事業計画変更を認可(**調査開始**)

